

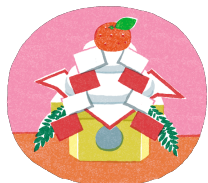
# 萱瀨☆物語

大村市立萱瀨小学校

学校だより 第20号

令和5年1月10日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」



## 新年明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひ申し上げます



令和5年（2023年卯年）が始まりました。皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられたことと思います。

「一年の計は元旦にあり」の言葉どおり、子供たちに今年の目標・3学期の目標を立てて取り組ませていきたいと思ひます。私自身も初心を忘れず、萱瀨小学校の子供たち一人一人を大切にしていきたいと思ひます。

始業式で子供たちに次のようなことを話しました。「1年間のまとめと次の学年の準備をしっかりと行うために『3つのかまえ』を大切にしてほしい。」

1つ目は、「心がまえ」自分自身の成長という目的を持った心のやる気

2つ目は、「身がまえ」自分からのあいさつや元気な返事等、行動に表れるやる気

3つ目は、「物がまえ」忘れ物をしないこと（期限を守る提出物、揃えられた学習用具等）、揃えられた履き物、片付けられた教室等、物から伝わってくるやる気

全員でこの『3つのかまえ』に取り組ませたいと思ひています。また、合言葉『やさしさ・ゆめ・げん気』のもと、子供たちと教職員が一丸となって目標にチャレンジし続けることは変わりません。軸足をぶらさず3学期をやり抜きます。

6年生は最後の3学期。「立つ鳥跡を濁さず」ということわざがありますが、学校・地域・下級生、様々なもの・人・ことに感謝を表す行動。思い出を心に刻む3ヶ月にしてほしいと思ひています。

保護者の皆様、地域の方々、今年も変わらぬご理解とご支援をお願ひします。

「あなた」  
わたしは  
あなたが  
大好きです  
わたしの  
自慢です  
宝物です  
だから  
わたしは  
大切に  
します  
あなたを  
どんなときも

## 児童の作文発表を紹介します。

2学期の終業式で、児童代表が作文を発表しましたので、紹介します。

「2学期を振り返って」 1年 女子児童

9月に運動会がありました。練習のとき、私は2年生にぬかれたことがありました。それがくやしくて、土日に家族で小学校に来て時間まで練習を続けました。練習したから1位になれました。うれしかったです。きつくてもがんばったら、うれしいことがあるんだと気づきました。11月には黒木小学校と交流会がありました。2年生がおもちゃランドの準備をしてくれたので、うれしかったです。2年生がいなかったら、みんなで一緒にあんなに楽しい遊びはできなかつたと思ひます。

来年はわたしが2年生なので、がんばりたいと思ひました。

## お正月特集 ～新年にちなんで、日本古来のお正月の風習についていくつか紹介します～

### 正月とは



昔から、元旦には「年神様（としがみさま）」という新年の神様が、1年の幸福をもたらすために降りてくると考えられていました。年神様は、ご先祖の神様であると同時に田の神、山の神でもあるため、子孫繁栄や五穀豊穡に深く関わり、人々に健康や幸福を授けるとされています。「正月様」「歳徳神（としとくじん）」ともいいます。「正月を迎える」という言い方も、神様を迎えるという意味で使われるようになったそうです。

### 門松



年神様がいらっしゃる目印として、玄関前に飾ります。古来より松は神の宿る木とされており、古くは庭先に一本松を置いていました。やがて、門のところに雄松と雌松を左右一対に並べるようになり、さらに縁起物の竹や梅が添えられるようになって現在に至ります。門松を飾っておく期間一年神様がいらっしゃる期間となるので、これを「松の内」（一般的には1月7日まで）といい、年始のあいさつや年賀状のやりとり、初詣をするのも松の内とされているわけです。

### 初日の出



初日の出は、新年の幕開けの象徴です。年神様は日の出とともにやってくるという説もあり、見晴らしのいい場所へ出かけて、その年の最初の日の出を拝むようになりました。山頂で迎える日の出を「ご来光（ごらいこう）」といいます。

「最近では、暮らしの中に、手を合わせて拝むという習慣が少なくなったように思います。神様や仏様、ご先祖のように、目に見えないものに手を合わせて畏れを感じたり、お願いをしたりすることは、感謝の心や謙虚さ、希望につながります。昔の人の暮らしの知恵はすごいと思います。」

お正月の風習は、健康に仲良く過ごすための知恵なのかもしれません。昨年もコロナ騒動に追われた1年でしたが、今年は1日も早い収束を願うばかりです。

皆様、今年もよろしくお祝い申し上げます。